

「校庭」＝「運動場」の常識を覆す、心身の成長を促進する画期的遊具が登場 公立小学校に屋外大型遊具を初導入（広島県三原市） ～学童期の運動不足の課題に、「遊び」によるソリューションを提供～

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、広島県三原市の公立小学校3校の校庭に、公立小学校では当社初となる本格的な屋外大型遊具を導入します。学童期の運動不足という課題に対し、「遊び」のハード面でのソリューションを提供する、画期的な取り組みです。

今回遊具が導入されるのは広島県三原市の公立小学校のうち、今年4月に既存校の統廃合により新設される3校です。三原市では、4月より30校あった小学校のうち11校が3校に統合され、多くの子どもたちがスクールバスでの登下校を余儀なくされることとなり、運動不足に対する懸念の声が挙がっていました。市の課題に対し、ボーネルンドは広島県下の小中高等学校に教科書等を販売する広島県教科用図書販売株式会社（広島教販）と共同で、あそびの要素を取り入れたこれまでにない校庭環境を提案。運動不足対策としてあそびが効果的であると市の教育委員会から高い評価を得て、新しい大型遊具の導入が決まりました。

今回導入される遊具は、デンマークの遊具メーカー「コンパン社」が学童期の子どもの成長を研究して開発した屋外大型遊具「ギャラクシー」シリーズです。すべての部材が傾斜や曲面で構成され、安定した場所がないため、重心のかかる位置を意識しながら自分の意志どおり体のバランスをとることが要求されます。バランス能力を高め、普段使うことのない筋肉の強化も図れるなど、総合的な身体能力の向上につながる遊具です。仲間と競争して遊ぶなかで、達成感や自信を得ることもできます。デンマークでは多くの小学校の校庭遊具として活用され、多くの子どもに親しまれるとともに、体力・運動能力や、コミュニケーション力の向上に効果を挙げています。



導入遊具イメージ

日本では、「校庭」＝「運動場」という考え方が根強く、校庭に設置される遊具も鉄棒やうんてい、登り棒など「運動」に主眼を置いたものが中心です。幼稚園・保育園では当たり前だったあそび環境は、小学校では完全に切り離されています。一方で、都市化や少子化の進行により、公園など子どもたちが自由に体を動かして遊ぶことができる環境は年々失われ、子どもの体力・運動能力不足が懸念されています。こうした現状をうけ、文部科学省では昨年、子どもにとって最低限必要な身体活動量を「1日60分以上」とする指針を発表。指針では、遊びの要素を取り入れて体を動かす機会を作ることを奨励しており、運動不足対策として遊びが果たす役割に注目が集まっています。

当社では、子どもの健全な成長のためには、子どもを取り巻くあらゆる場所にあそび環境が必要だと考え、さまざまな場所でのあそび場づくりを推進しています。子どもが一日の大半の時間を過ごす大切な成長の場である小学校においても、「遊び」の役割の見直しを背景に、あそび環境づくりへのニーズが高まることが予想されます。当社ではこれまで小学校でのあそび場づくりは一部私立小学校*に限られていましたが、今回の三原市との取り組みをきっかけとして、より積極的に全国の教育委員会等に働きかけていく考えです。

* (ご参考) **立教女学院小学校での校庭プロデュースについて**

ポーネルドでは、2008年に立教女学院小学校(東京・杉並区)の校庭の一部をリニューアルし、全国でも初めての本格的なあそび環境をプロデュースしました。一人ひとりの身体能力に合ったあそびを選択でき、あそびを通してからだを動かすことの楽しさを感じられる環境づくりを目指し、安全面に配慮した、創造性にあふれる遊び場が完成。遊び場では、運動不足解消はもちろん、これまでは見られなかった異年齢の子ども同士と一緒に遊ぶことが増え、上級生が下級生の面倒をよく見るようになったり、休み時間に思い切り遊ぶことで、授業中の集中力や学習意欲が高まるなど、様々な効果が出ており、今では子どもたちの学校生活に欠かせないものとなっています。



【ポーネルドについて】

ポーネルドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国89ヵ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万ヵ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国16箇所、年間182万人の親子が訪れています。

<p>《報道関係の方のお問い合わせ先》</p>	
<p>株式会社ポーネルド 広報室 担 当： 讃井、村上 T E L： 03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail： sanui@bornelund.co.jp</p>	<p>株式会社プラップジャパン 担 当： 古澤、五味渕、山口 T E L： 03-4580-9104 E-mail： bornelund@ml.prap.co.jp</p>
<p>《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》</p>	
<p>株式会社ポーネルド</p>	<p>TEL： 0120-358-518</p>